

## 社会福祉法人わらしべの里 令和7年度 法人本部 事業報告

### 1 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の運営

(1) 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会を次のように開催した。

#### 理事会

実施月	主な議案
令和7年 5月24日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款第17条第3項で定める報告事項</li> <li>・次期評議員の選任結果についての報告</li> <li>・前年度の事業報告及び決算報告並びに監事監査報告について</li> <li>・社会福祉充実計画について</li> <li>・評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>・施設長の選任について</li> <li>・役員等の報酬等に関する規程の一部改正について</li> <li>・評議員会の招集について</li> </ul>
令和7年 6月14日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事及び監事の選任結果についての報告</li> <li>・理事長の選任について</li> <li>・業務執行理事の選任について</li> <li>・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</li> </ul>
令和7年 11月19日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款第17条第3項で定める報告事項</li> <li>・就労継続支援事業B型運営規程の一部改正について</li> <li>・生活介護事業運営規程の一部改正について</li> <li>・日中一時支援事業運営規程の一部改正について</li> <li>・共同生活援助事業運営規程の一部改正について</li> <li>・準職員取扱要領の一部改正について</li> <li>・令和7年度第1次補正予算について</li> </ul>
令和8年 3月21日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長及び業務執行理事の業務執行状況について</li> <li>・令和7年度第2次補正予算について</li> <li>・就業規則の一部改正について</li> <li>・就労継続支援事業B型運営規程の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・令和8年度事業計画について</li> <li>・令和8年度当初予算について</li> </ul>

#### 評議員会

実施月	主な議案
令和7年 6月14日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の事業報告及び決算報告並びに監事監査報告について</li> <li>・役員等の報酬等に関する規程の一部改正について</li> </ul>

	・理事及び監事の選任について
--	----------------

## 評議員選任・解任委員会

実施月	主な議案
令和7年 4月16日(水)	・次期評議員の選任について

(2) 監事監査を次のように実施した。

実施日	監査実施者	立会人	監査結果
令和7年 5月14日(水)	亀田幸夫監事 関口慎司監事	大橋誠 理事長 金坂尚慶 施設長 橋本充友 事務長	おおむね良好かつ適正に 運営されていると認めら れた。
令和7年 11月19日(水)	亀田幸夫監事 諏訪裕子監事	金坂尚慶 理事長 橋本充友 施設長	おおむね良好かつ適正に 運営されていると認めら れた。

## 2 人材育成と職員処遇の充実

(1) 労働時間の短縮等労働条件の改善及び業務省力化

- ・職員のパソコン一人一台体制の確保やネットバンキングの導入、共有アプリケーションの活用など、事務処理や業務の効率化に努めた。

(2) 職員研修等人財育成・資質の向上対策の推進

- ・各種機関の主催する外部研修やオンライン研修を活用し、職員の知識や技能の向上を図った。
- ・職員の新規採用に際して、法人・施設の概要や障がい者の虐待防止について研修を実施した。
- ・内部研修として、下記の研修を実施した

実施日	内容	備考
令和8年 1月23日	感染症予防研修 ・感染予防についての動画視聴 ・平時の感染予防の確認 ・吐しゃ物処理方法の確認 など	
令和8年 1月23日	虐待防止研修 ・障害者虐待虐待防止法の理解 ・障害者虐待防止の現状について ・障害者福祉施設等における障害者虐待の防止対応 ・スリーロックについて	

(3) 福利厚生等の士気高揚策の充実

- ・職員に対する健康診断の適切な実施、福利厚生センターの活用、有給の取りやすい雰囲気づくり等、働きやすい環境作りに取り組んだ。

### 3 障害福祉サービス事業所「わらしべの家」の経営

#### (1) 生活介護事業について（定員 10 名／契約者 10 名）

- ・令和7年度利用実績 8.76 名／利用率 87.6%（前年度利用実績 8.99 名）
- ・利用率減少の原因は、利用者2名が入浴のため他事業所を週3日利用しているため。

#### (2) 就労継続支援事業 B 型について（定員 24 名／契約者 31 名）

- ・令和7年度利用実績 29.2 名／利用率 121.6%（前年度利用実績：25.43 名／106%）
- ・近隣事業所の閉鎖に伴い令和6年12月から新規利用者4名が利用開始したことが、利用率の増につながっている。

### 4 日中一時支援事業（公益事業）の実施

- ・前年同様に早朝のサービス提供を年間を通して実施した。令和7年度も同様に実施している。

### 5 指定特定相談支援事業「相談支援事業所 わらしべの家」の経営

- ・わらしべの家（生活介護事業／就労継続支援事業 B 型／共同生活援助）の利用者を中心に、サービス利用に向けた相談や一連の手続きを実施した。

### 6 共同生活援助事業（グループホーム）の経営（定員 7 名／入居者 7 名）

- ・令和6年度利用実績 6.84 名／利用率 97.7%（前年度利用実績：6.78 名／96.8%）
- ・長期のお休みや体調不良時以外は、ほぼ GH を利用して頂くことができ、利用率の増につながった。

### 7 財務状況について

- ・多機能型では、新規利用者の増により収入が増加した。支出についても、令和6年度のリフォーム工事のような大型支出は無く、増収増益となる。
- ・グループホームにおける収支でも、高い利用率により、令和6年同様に黒字となった。
- ・法人全体では、前年に比べ増収増益となった。

### 8 各種委員会等の開催

#### (1) 虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会

実施日	内容	備考
令和7年 6月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者保護者へのアンケート調査の結果について</li><li>・今年度の虐待防止研修の実施内容について</li><li>・虐待および身体拘束または不適切な支援が疑われる事案の有無について</li></ul>	虐待等が疑われる事案はなかったが、支援方法が不適切と思われる事案があり、当該対応以外にも職員会議を通して、施設全体としてより適切な支援方法を模索し対応していくこととなった。
R7年 3月31日	<ul style="list-style-type: none"><li>・虐待および身体拘束または不適切な支援が疑われる事案の有無について</li><li>・次年度の虐待防止研修の実施内容について</li></ul>	

(2) 感染症及び食中毒の予防並びにまん延防止委員会

実施日	内容	備考
令和7年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近の感染者の発生の有無について</li> <li>感染症予防研修の実施について</li> </ul>	
令和7年9月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近の感染者の有無について</li> <li>その他</li> </ul>	
令和8年1月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近3ヵ月の感染者の有無について</li> <li>感染症予防研修の実施について</li> </ul>	
令和8年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近の感染者の有無について</li> <li>その他</li> </ul>	

(3) BPC（業務継続計画）研修／訓練

実施日	内容	備考
令和7年7月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPの読み合わせによる内容の共通理解</li> </ul>	相談支援事業
令和7年9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPの読み合わせによる内容の共通理解</li> </ul>	相談支援事業
令和7年9月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練：災害（地震）を想定した実地訓練を実施。</li> <li>研修：BCPの読み合わせによる内容の周知や共通理解を図った。</li> </ul>	多機能型事業 共同生活援助事業
令和8年3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練：災害（地震）を想定した実地訓練を実施。</li> <li>研修：BCPの読み合わせによる内容の周知や共通理解を図った。</li> </ul>	多機能型事業 共同生活援助事業

(4) 地域連携推進会議

実施日	内容	備考
令和8年2月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学</li> <li>共同生活援助事業所わらしべの家 事業所運営に係る状況報告について</li> </ul>	委員3名出席

9 その他

(1) 感染症対策に関するもの

- 冬場等、感染しやすい時期には、利用者・職員を対象としたマスクの着用や手指消毒を実施した。各家族単位で感染は発生したものの、施設内感染に至ることはなかった。
- グループホームでは、職員やその家族が体調不良になることがあったものの、施設内で感染が広がることはなかった。

(2) 予算に関するもの（修繕や固定資産など）

- 補正予算により、令和8年3月に第2作業所のエアコン入替工事を実施した。それ以外

では、軽微な修繕工事や機器の入替えはあったものの、大型な修繕や機器の入替えはなかった。

(3) 職員人事に関するもの

- 通所の非常勤職員2名が3月末で期間満了での退職となった。その補充と定員変更による増員のため、2月に1名、3月に2名、4月に1名を新規採用した。

(4) 事業運営に関するもの

- 令和8年4月付で就労継続支援事業B型の定員を24名から30名へ変更した。

# 令和7年度 多機能型事業所 わらしべの家 事業報告

## 1 適切な利用者処遇の確保について

### (1) 適切な利用者処遇方針の策定

利用者の処遇に当たっては、職員会議を通じて、利用者個々の心身の状況等を勘案し、利用者並びに家族の意思を尊重した個別処遇方針を策定した。また、個別支援会議において、処遇方針見直しの検討を行った。

### (2) 健康管理対策

①全般的な健康診断及び生活習慣病等の予防策として、9月にとちぎメディカルセンター総合健診センター（旧医師会病院）の協力の下、健康診断を実施した。また、B型利用者へ対しては6月及び3月に嘱託医の大森医師による問診を施設内で実施した。また、7月に大腸がん検診を希望者のみ実施した。全利用者に結果を報告するとともに、問題のある利用者に対しては、通院や再検査を促した。さらに12月には、とちぎメディカルセンター総合健診センターの協力の下、希望者にインフルエンザ予防接種を受診した。

②生活介護事業利用者に対しては、看護師による週1回のバイタルチェックや嘱託医による月1回の問診を実施し、健康に関する相談や助言を行った。さらに、記録用紙にて保護者へ報告をするとともに、保護者からの相談やそれに対するアドバイスを行った。

## 2 生産活動について

### (1) 請負事業

以前から継続している軽作業に加えて、キャラクターボールペンの組立・梱包作業や、電動ドライバーを使用する保安部品の組立梱包作業を新たに実施した。

その他、不定期作業として書類の封入作業、広報誌の二つ折作業、公園清掃作業、コインパーキング清掃などを実施し工賃増に努めた。

さらに、日常生活においても日々の支援の中で社会生活に必要な「挨拶」「礼儀」「身だしなみ」「金銭感覚」などのマナーや約束事が身につくように支援に努めた。

### (2) 自主製品事業

主にさをり織りを中心とした作業支援を実施した。昨年と比べ、色彩豊かな配色に変更し指定織りを多めに取り入れることや、商品づくりにかかわる機会を増やし、仕上がった反物の洗濯やアイロンがけの工程も体験することで、作業における仲間の作業能力の向上や充実感の獲得につながった。

その他の作業科目として、加工用いちごのヘタ取り作業・公園清掃・コインパーキング清掃作業・金属部品の検品作業等の、多種多様な作業に取り組むことで、仲間のやりがいと工賃の増額に努めた。

### (3) PC事業

#### ①機関紙作成

継続して写真の枚数・挿絵を多く配置し、文章の書き方も親しみやすく感じても

らえるように努めた。

## ②ホームページ作成

引き続き各種情報公開への対応やより分かりやすい内容にするために法人ホームページ更新を行った。また、掲載記事については掲載前に内容を複数人で確認することで、読み手側に誤解やトラブルがないよう努めた。

## ③名刺作成

リピーターのお客様も増え、仲間たちも喜んでいる。商品に満足していただいているのか、同じ組織内からの注文が数件続いている。

## ④絵はがき作成

わらしべの里利用者が描いた絵やパソコンで作った絵を年賀・暑中見舞いはがきにして、販売している。はがきの受注・作成・納期といった一連の流れを経験した。自分の役割があるという点でやる気につながっている様子。

## ⑤封筒印刷

栃木市役所をはじめ、市内の施設から注文が何件か入り、年間を通して取り組める作業となった。

## 3 工賃支給実績について

年度	総支給額（円）	1月あたり1名あたりの 平均支給額（円）
R5	2,830,340	8,423（旧計算式）
		10,037（新計算式）
R6	3,857,926	12,643（新計算式）
R7	5,265,520	15,027（新計算式）

※栃木県に提出している「工賃実績報告書」に基づく。

## 4 防災対策について

施設の運営状況に合わせながら、下記のとおり2カ月に1回程度、防災訓練を実施した。

### 防災訓練実施状況

実施月	訓練内容
5月	消火訓練・避難誘導訓練
7月	消火訓練・避難誘導訓練
9月	総合訓練（通報／初期消火／避難誘導）
11月	消火訓練・避難誘導訓練
1月	消火訓練・避難誘導訓練
3月	総合訓練（通報／初期消火／避難誘導）

## 令和7年度 日中一時支援事業 事業報告

日中において監護する者がいないため、一時的に見守り等の支援が必要な障がい者等の日中における居場所を提供した。

開所日のほぼ毎日、早朝の時間帯（8：00～9：00）において、障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることができた。

実人員	身体障がい	知的障がい	精神障がい
3名	0名	3名	0名

# 令和7年度 相談支援事業所わらしべの家 事業報告

## 1 特定相談支援事業について

### (1) 基本相談支援

障がいのある方及びその保護者または介護者などから社会生活を営む上での相談に応じ、情報提供や助言を行うとともに、市町及び障がい福祉サービス事業者との連絡調整を行った。

### (2) 計画相談支援

#### ・サービス利用支援

障がいのある方のご希望や目標などを伺いながら、一人ひとりのニーズや状況に合わせたサービス等利用計画案を作成した。障がい福祉サービスの利用支給決定後に、障がい福祉サービス事業者等の関係機関と会議、連絡調整を行い、サービス等利用計画を作成した。

#### ・継続サービス利用支援

障がい福祉サービスの利用支給決定後、厚生労働省令で定める期間ごとに障がい福祉サービス等の利用状況の確認を行い、必要に応じて、サービス等利用計画の見直しを行った。

#### ・質の高い支援の実施

利用者の入院時や退院・退所時等、サービスの利用環境が大きく変動する際に、関係機関との連携の下で支援を行った。また、サービス提供場面を直接確認するなど、利用者の状況確認や支援内容の調整等を行った。

### (3) 契約者数

実人員	身体障がい	知的障がい	精神障がい
45名	5名	33名	8名

※重複障がいあり

## 2 相談支援専門員の資質向上に向けて

以下の研修会に参加し、自己研鑽に努め、専門職としての資質の向上を図った。

- ・社会保険制度説明会
- ・就労選択支援説明会
- ・障害福祉サービス等事業所における経営情報の見える化に係る都道府県等・各障害福祉サービス等事業所向け説明会
- ・てんかん診療連携関係者研修会
- ・精神障害者家族会公開講座
- ・精神障害者の退院後支援に関する研修会
- ・高次脳機能障害セミナー
- ・個別避難計画作成に関する説明会

## 令和7年度 共同生活援助事業所わらしべの家 事業報告

### 1 安心安全で楽しい「住まいの場」としてのサービス提供

- 適切な利用者支援方針の策定として、個別支援会議を開催し、利用者個々の心身の状況等を勘案し、利用者の意思を尊重した個別支援計画を策定した。
- 定例会議の際に「障がい」や「支援方法」についての研修を実施し、好ましい支援の仕方や情報の共有を行い、画一的なサービスの提供ができるよう取り組んだ。
- 新規職員が入職した際には、全員に虐待防止を含む研修を実施した。
- 「手作り調理」を重視した食事の提供、洗濯や清掃・必要に応じた入浴支援・必要書類の整備等を行った。
- 毎朝の検温や日々の体調確認、服薬の確認、通院や衛生面等についての助言や支援を行った。

### 2 防災対策について

- 消防計画および防災マニュアルを職員等に十分周知するとともに、発生を予防するための施設・設備の日常の点検管理を実施した。
- 地震や火災発生時に迅速な対応ができるように、職員と入居者全員を対象に、避難訓練を実施した。初めての取り組みで、戸惑いが大きかったが、必要な対応を確認することができた。
- 大規模災害発生を想定し、3日分の食料・水の備蓄や、非常用の小型発電機を整備している。

### 3 その他

- 事業運営について、令和6年の報酬改定により新設された「人員配置体制加算Ⅰ」算定できる体制を作り、より手厚い支援を実施することができた。
- 職員人事について、令和8年3月時点で、管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員（兼務）1名、世話人6名のトータル9名体制となっている。
- 情報公開について、法人の広報誌やホームページにてグループホームの生活の様子や、避難訓練の様子を掲載し、情報公開に努めた。